

平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会へのお誘い



平成 28 年度放射線安全取扱部会
年次大会実行委員長

井上 浩義

平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 57 回放射線管理研修会）を平成 28 年 11 月 10 日（木）と 11 日（金）に神奈川県鎌倉市の鎌倉芸術館にて開催します。本年度のテーマは「いいね鎌倉—主任者よ立ち上がれ—」です。

大会を開催する鎌倉は源頼朝が 12 世紀末にそれまでの公家政治を打ち破り、新たに武家政治を確立した地です。武家政治勃興の地である鎌倉に、私たち、放射線安全取扱に関係する者が一同に会します。私たちは現在、危険時の措置の充実強化、安全文化・品質保証など、従来の私たちの守備範囲では賅いきれない喫緊の課題が目前に迫っています。鎌倉の地で、頼朝に習って、私たち自身が主任者のあり方や組織の改革について考えることができればと思います。

大会第 1 日目である 10 日は、特別講演 I で、毎年恒例となっております原子力規制庁による「放射線安全管理行政の動向」についてお話しいたします。近い将来に改正される法令についても情報が得られるかもしれません。その後のシンポジウム I では、切れ切れの情報で、皆様が今ひとつ完全理解できていないのではないかと思われる品質保証制度について、「放射線利用の品質保証制度導入にむけて～放射線施設における安全文化の醸成に関するこれからの活動について意見交換しよう～」と題して、お話しいたします。

大会第 2 日目である 11 日は、最後のセッションを除いて、一般公開とします。会場に一般の方々がいらっしゃるといことで諸事に注意をお願いいたします。最初の特別セッションでは、高校生に登場してもらいます。近年盛んになってきた科学教育の中から放射線に関するものを 4 題選び、高校生自身

に発表を行ってまいります。特別講演 II では、日本中が大喜びしました新元素・ニホニウムについて、「113 番新元素（ニホニウム）の発見」と題して理化学研究所の森本先生にその発見経緯を含めて講演していただきます。午後のシンポジウム II では東京大学の中川先生のグループに「最先端のガン治療と研究」と題してお話をさせていただきます。

この他にも、恒例のポスター発表コーナー、機器展示、書籍コーナーは新たな交流や知見を得る絶好の機会です。有効にご利用ください。相談コーナーでは、今年は恒例の「RI 供給・廃棄」、「法令」、「放射線管理・取扱い」だけでなく、新たに「病院関係」を設けました。是非、独りで悩まずに経験豊富な先達（相談員）と話し合ってください。この他に、今年は、わずか 20 分ですが、終幕の前に「私の意見・支部の意見」と題して従来、ポスター等でしか発表できなかった意見を全体に向かって披露する場を設けました。日頃、思っておられること、感じておられることを、是非、この場で皆様に直接ご披露ください。

なお、お勉強時間ではありませんが、会員の皆様の相互理解を深める場として重要な交流会を 1 日目の夜に準備しております。美味しく、ちょっとおしゃれな湘南の食事をご堪能ください。また、交流会では落語家の三遊亭好吉さんが司会進行補助を務めてくださいます。好吉さんは笑点でお馴染みの三遊亭好楽師匠のお弟子さんで、神戸大学理学部物理学科を卒業しておられます。

それでは、実行委員揃って、皆様の鎌倉へのお越しをお待ちしております！

（慶應義塾大学医学部科学教室）